

エアコン1台で 家全体温度一定

勝建設、システム開発 光熱費4割減

戸建て住宅の建築や施設改修などを手掛ける勝建設（千葉県佐倉市、小杉敬太郎社長）は、エアコン1台で家全体の温度を一定に保てる空調システムを開発した。省エネ効果として一般的な家庭ではエアコンの光熱費を4割削減できるうえ、急激な温度変化で体調が悪くなる「ヒートショック」の防止にもつながられる。2017年1月から新築住宅に組み合わせて販売する計画だ。

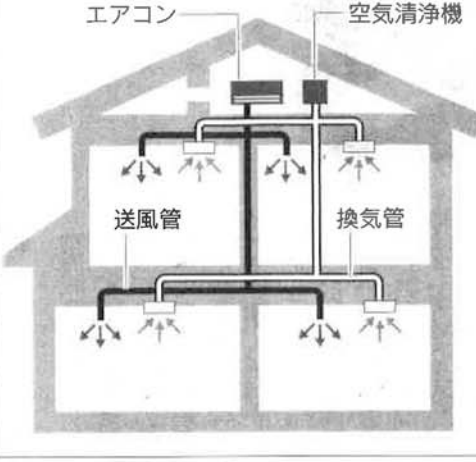
来月から住宅とセット販売

新システムは屋根裏や押し入れなどに設置したエアコンと空気清浄機を接続し、各部屋に送風管などの天井に送風口と換

新システムはエアコンと空気清浄機を接続した（一部画像処理しています）



ダクトの張り巡らせ方に独自ノウハウ



福袋「周年記念」でお得感

40周年「4万円分を4割引」…

県内百貨店

17年にちなんだ福袋を取りそろえるのは高島屋柏店（柏市）。三井ホームと組み、新築戸建て住宅と高島屋の商品券20万円分を組み合わせた福袋も試飲できる。

参加できる福袋（3万2400円）を20人限定で販売。ワイン好きで知られる桑田氏が選んだワインも試飲できる。

べ、光熱費を平均4割削減できる。部屋ごとにエアコンの室内機や室外機を設置する必要がないため、省スペースのほか、見栄えも良くなる利点もアピールしていく。冬場に一般的な住宅で

は居間と玄関の温度差が4.5度であるのに対し、新システムでは1.4度に抑えられた。急激な温度変化で高齢者らの体調が急変するヒートショックも防げるとみられ、同社は今後、「温度バリア

フリー」を売り物に、中年を中心に需要を取り込んでいく考えだ。

同社は1983年に設立。新築戸建ての設計・施工やリフォームなどを手掛け、16年7月期の売上高は1億円だった。

五輪4者協議、会場見直し決着 「400億円圧縮」成果強調

都知事

2020 TOKYO

21日に開かれた東京五輪・パラリンピックの大会組織委員会と国際オリंपピック委員会（IOC）、政府、東京都の4者協議で、五輪会場の見直し論議は最終決着し、小池百合子知事は整った成果を強調した。小池知事が発足させた五輪調査チームが会場見直しを打ち出してから3カ月。ボート・カヌー会場は長沼ボート場（宮城県登米市）、バレーボール会場は横浜アリーナ（横

商店街や住民らの団体



歌舞伎町にも「クリスマス市」

クリスマス・マーケットでは、ソーセイジーやヒーフィンチュールといったドイツ料理のほか、スパイ

ドイツの料理・菓子販売

千葉県内の百貨店は2 食品専門店「北野エース」ある中国料理店の食事券 円分を組み合わせた福袋 円分を組み合わせた福袋 円分を組み合わせた福袋